

合気道

守央書

Vol. 28

全日本合気道連盟広報 JAPAN AIKIDO FEDERATION (JAF)

- ◆発行日：令和5年8月10日(木)
- ◆発行：全日本合気道連盟
〒162-0056
東京都新宿区若松町17番18号
(公財) 合気会内
TEL 03-6457-3315
- ◆発行人：尾崎 响
- ◆編集責任者：林 典夫



2P 令和5年度 鏡開き式・武道始め
3P 合気神社例大祭
4P 第60回 全日本合気道演武大会

5P 令和5年度 全日本合気道連盟理事会・定時評議員会
7P 第19回 全日本合気道連盟特別講習会
11P 第1回IAF国際青年合気道大会

令和五年度鏡開き式・武道始め

(公財)日本武道館主催の「令和五年度鏡開き式・武道始め」は一月九日(成人の日)、東京・九段下の日本武道館で行われた。

開会式の後、武道九団体と(公財)日本武道館で組織されている日本武道協議会による令和四年度年武道功労者並びに武道優良団体の表彰式が行われた。これは長年に亘り全国又は地域・職域において武道の普及・振興に寄与した個人と団体を対象にするもので、合気道では武道功労者として工藤泰助氏(合気道敷島塾会長)が、武道優良団体として三重県合気道連盟が表彰された。

続いて、古式に則った鏡着初めと鏡開きが行われ、大將軍を(公財)合気会理事である山谷えり子参議院議員・(公財)日本武道館常任理事が務めた。



(左から)植芝本部道場長、工藤敷島塾会長、植芝道主、畷原三重県連盟会長

次いで各道による模範演武が弓道、相撲、剣道、空手道、なぎなた、柔道、銃剣道、合気道、少林寺拳法の順で披露された後、新型コロナウイルスの感染対策のため二部制により参加者を分散させての武道始め(各道稽古会)が行われた。

合気道敷島塾

会長 工藤 泰助

此の度、道主植芝守央先生の御推挙を賜わり武道功労章の栄を戴くことになりました。身に余る光栄と存じます。愚生は昭和十五年四月二十四日四国徳島は阿州に誕生。関西学院大学にて偶々偶然、終生を決する合気道に御縁を得る。学生生活四年間合気道一筋青春を謳歌。開祖植芝盛平翁、二代道主植芝吉祥丸先生の慈愛溢れる薫陶よきしきを賜わる。初めて日本人に生まれた喜び、幸を噛み締る関学卒業後、故郷徳島にて二代道主吉祥丸先生の御理解、支援を頂き昭和四十年に合気道敷島塾を立上げ斯道の普及に勤しむ。そして一年後鉄骨スレート建て、待望の合気専門道場開設に漕ぎ着ける。この道場で早朝と午後二回修練に励む。何しろ草創期、堅忍不拔、刻苦勉勵の心根を糧とし、日夜寝食を忘れ邁進する。その後も難行苦行、悪戦苦闘しながらも現下では公の施設に御世話になり安定的に大勢の老若男女が稽古に励んでいる。お陰様で礼に始まり礼に終る道を確り修めた挙措の十全なる人士が多数輩出している。又県都徳島市教育委員会との御協力により、市内十五中学校体育

教員に対する合気実技講習会を指定講習会として実施、大いなる成果を上げている。閑話休題、日々薄れ行く日本の香、何かにつけ陶しく悩ましい限り。悲歌慷慨に耐えない。我が愛する悠久の花も実もある日本は一体全体このまま何処に漂着するのだろうか。道の教えに合気は大自然と人間の調和とある。熟々想うにこの精神性豊かな日本の土壌より生起した武道、就中合気道こそ日本再興の頼もしい力になるであろうと確信する。明治時代の啓蒙思想家福沢諭吉曰く、「一身独立して一国独立する」の警句に意を強く人づくり国づくりを天職使命と念じ今後共斯道を極めるべく歩んで行く所存である。

三重県合気道連盟

会長 畷原 正典

このたびは日本武道協議会武道優良団体としてご推挙いただきました。道主植芝守央先生ならびに関係各位の方々に厚く御礼申し上げます。三重県合気道連盟役員及び会員一同感激と共に身の引き締まる思いで一杯でございます。心から感謝申し上げます。

三重県合気道連盟は、本部道場指導部師範大澤勇人先生、全日本合気道連盟理事長尾先生の指導をお受けしながら平成二十二年四月に設立いたしました。設立当時加盟団体十三道場でしたが、紀州熊野合気会の庵野素岐先生ならびに石本富男先生率いる各道場が次々に加盟することになり現在二十二道場の加盟団体にて県内地域における合気道の普及振興に積極的に取り組んでおります。

設立時三重県連として活動していくためにはまず各加盟道場の結束が必要であろうと考え、早々に設立記念合同稽古会を開催

しましたところ百名を超える参加者があり会員相互の交流及び結束を深めることができました。翌年には、設立時お世話になった本部道場指導部師範大澤勇人先生を講師にお招きし設立記念特別講習会を開催させていただきました。また平成元年には道主植芝守央先生にご指導を仰ぎ、三重県合気道連盟設立十周年記念講習会を開催いたしました。道主先生には合気道の基本的な技を中心にしつかりとご指導いただき合気道心技研鑽に励むことができました。またこの時に時間を調整していただき道主先生には、県内鈴鹿山脈の麓に鎮座する椿大神社(守護・導きの神・猿田彦大神)にご参拝をしていただきました。この椿大神社は、開祖植芝盛平翁が昭和二十七年に椿大神社に初めてご参拝されてより度々ご参拝され金龍明神の滝に何度も禊ぎを行われていたとのこと、合気道には縁の深い大神社であります。小職は春季・秋季の例大祭には欠かさず参拝しております。皆さま方も機会がございましたらぜひ参拝していただけたら幸いです。よろしくお願いいたします。

三重県合気道連盟は今回の受賞を励みにし、今後各種講習会・演武大会の開催、指導者研修会、学校武道(合気道)教育への協力支援、県武道振興会主催の武道(合気道)教室への協力支援、各市スポーツ協会主催の合気道教室への協力支援等への活動に力を入れ、地域に根ざした合気道の普及振興に努めていく所存でございます。関係各位の皆さま方のご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

このたびは誠にありがとうございました。

合気神社例大祭に1100名



開祖・吉祥丸二代道主慰霊祭も開催

「合気神社大祭」と「開祖・吉祥丸二代道主慰霊祭」は、四月二十九日午前十一時より、茨城県笠間市(旧岩間町)の合気神社で執り行われた。当日は千百名の参拝者が集した。

合気神社大祭は、修祓に始まり、大祭祝詞、植芝家をはじめ、各界の玉串奉奠が行われ、参拝者全員で神言を奏上した。

開祖・吉祥丸二代道主慰霊祭は、祖霊、開祖・吉祥丸二代道主慰霊祭祝詞のあと、植芝家、開祖・吉祥丸二代道主ゆかりの参拝者、参拝者代表による玉串奉呈が行われた後、天津祝詞が奏上された。

主催者挨拶として、植芝守央道主より「本日はご多用の中、合気神社大祭並びに合気道開祖植芝盛平翁・吉祥丸二代道主の慰霊祭にご参拝賜りまして本当にありがとうございます。」



新型コロナウイルス感染症により合気道界、大変制限を受けながらこの三年間行事を行って参りましたが、こうして落ち着いて爽やかな気持ちでこの行事を開催できましたことを、しかも、このように大勢の皆様方がおいでいただいたことを本当に嬉しく思うと同時に、皆様から感謝申し上げます。

開祖が亡くなられて五十四年、吉祥丸二代道主がお亡くなりになられて二十四年、その間、合気道は着々と地道でございすが大きく広がり、現在百四十の国と地域に大きな裾野を広げてきております。これはもちろん開祖の創始した合気道の素晴らしさ故ですが、吉祥丸二代道主を初めとする、先達の方々が心血を注ぎ合気道を普及してこれらしたこと、また、現在合気道を真剣に取り組んでこられている皆様方のお力によりこの大きな輪が出来上がっていると、私は確信いたしております。

これから、合気道を通じて世界を和合で結ぶとおっしゃられた開祖の気持ち大切に、日々、稽古をしながら、開祖の唱えた言

葉に少しでも近づくことができるように皆様と共に頑張つて参りたいと思います。本日は本当にありがとうございました」と挨拶。この後、植芝充央本部道場長による奉納演武、植芝道主による奉納演武が行われ、午後十二時半祭典を終了した。

また、四年ぶりとなる直会がその後行われ、植芝充央本部道場長、山口伸樹笠間市長より挨拶、林典夫(公財)合気会常務理事の発声で乾杯がなされ和やかに進められた。

大祭玉串奉奠者(敬称略)▽斎主加藤道明
▽植芝家植芝守央、植芝恭子、植芝充央、植芝慶子、植芝紘央、植芝智央(公財)合気会常務理事林典夫▽参議院議員上月良祐▽笠間市長山口伸樹▽笠間市副市長近藤慶一▽笠間市議会副議長内桶克之▽笠間市教育委員会教育長小沼公道▽田辺市副市長木村晃和▽田辺市議会議長北田健治▽田辺市教育委員会教育長佐武正章▽茨城県議会議員(茨城県合気道連盟会長)常井洋治▽本部道場指導部代表入江嘉信▽稲垣繁實▽国際合気道連盟理事長ヴィルコフリースマン
▽参拝者代表尾崎响

開祖・吉祥丸二代道主慰霊祭玉串奉呈者(敬称略)▽斎主加藤道明▽植芝家植芝守央、植芝恭子、植芝充央、植芝慶子、植芝紘央、植芝智央(公財)合気会理事赤沼二己男、可児晋、稲井孝之、佐藤健▽開祖・吉祥丸二代道主ゆかりの参拝者小林保雄、小林道場総師範、五味田聖二、植芝盛平、翁顕彰会理事長、遠藤征四郎本部道場指導部師範、後藤英伸(公財)合気会評議員、村井謙介(公財)合気会評議員、佐藤勝彦(公財)合気会評議員▽参拝者代表山本高英(公財)合気会監事

第60回全日本合気道演武大会

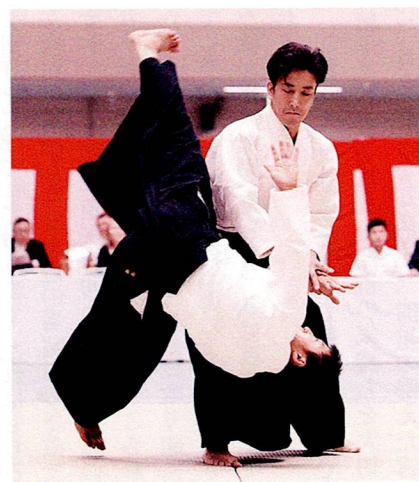
4年ぶり7000名



第六十回全日本合気道演武大会《主催（公財）合気会、後援スポーツ庁、東京都、（公財）日本武道館、NHK、日刊スポーツ（公財）日本武道館、NHK、日刊スポーツ新聞社、協力全日本合気道連盟》は、五月二十七日正午より、日本武道館で開催された。四年ぶりに感染症対策等の制限のない中で七〇〇〇名の演武者、一人にせまる観客の参加となった。

正午より、国歌斉唱の後、可児晋（公財）合気会理事から「本日、演武にご参加の皆様には日頃の鍛錬の成果を発揮し、合気道の素晴らしさを存分にご披露いただきますようお願いいたします」と開会の辞とさせていただきます」と開会の辞が述べられた。

続いて主催者挨拶として、大会会長の植芝守央道主より「第六十回全日本合気道演武大会が、ここ日本武道館で開催されますことを大変嬉しく思います。令和二年よりコロナウィルス感染症の影響で合気道界はさまざまな行事が滞ってまいりました。



四年ぶりに何の制限もなく爽やかな気持ちで第六十回という節目の大会を皆様と共に迎えられますことを本心に心から大変嬉しく思っております。本大会は公益財団法人合気会あけての最大の行事であり、全国の登録道場、社会人団体、学生団体の方々が、日頃の稽古の成果を発揮する場であり

ます。第一回全日本合気道演武大会は昭和三十三年、東京代々木の山野ホールで出場者百八十名、観衆千六百名のもと開催され、第十五回大会よりここ日本武道館をお借りし、本日は七〇〇〇名の出場者、観衆を合わせますと一万人に近い方々が一堂に会しております。現在合気道は、世界百四十の国と地域に大きな輪が広がっております。このように大きな輪が出来ましたのは、本大会が合気道を普及振興する上で、大きな役割を担っているとも言っても過言ではありません。そのことを踏まえ、皆様方は新たな気持ちを持って本大会に臨んでいただきたいと思えます。合気道開祖植芝盛平翁は、生前、合気道を通して世界の国々が和合の気持ちで結ばれるようにと唱えられました。私どもは、このことが少しでも実現できるよう日々の稽

古を大切に歩んでまいらなければならないと思っております。本日演武される方々は感謝と一期一会の気持ちを持って演武に取り組んでいただきたいと存じます。最後に、本大会を開催するにあたりご後援を賜りましたスポーツ庁をはじめ、関係諸団体に篤く心から御礼申し上げます。ありがとうございます。と述べられた。

来賓挨拶として元国務大臣・（公財）日本武道館常任理事・（公財）合気会理事・山谷えり子参議院議員、山田美樹衆議院議員（から言葉が述べられた。来賓紹介、祝電披露の後、演武に移った。

演武は、師範、登録道場、地域連盟、学生演武、中・高等学校、文化センター、社会人団体、海外道場、本部道場一般、防衛省連合会、合気道学校が出演した。

一部の最後を植芝充央合気道本部道場長の演武で締めくくられた。十分の休憩を挟んで二部が開催され、大会の最後を植芝守央道主の総合演武で締めくくられ、立ち技、座り技、半身半立ち技、太刀取り、杖取り、多人数掛けが披露された。

最後に林典夫（公財）合気会常務理事より「第六十回全日本合気道演武大会が、ここにご臨席の皆様、全員のご協力のもとに、盛大におさめることができました。心より御礼申し上げます。また、後援いただいたスポーツ庁、東京都、公益財団法人日本武道館、NHK、日刊スポーツ新聞社に感謝申し上げます。さて、この素晴らしい今日の活動を終えて、さらに大切にしたいので、来年また、この日本武道館で元気にお会いしましょう。本日はありがとうございました」と閉会の辞を述べられ大会は締めくくられた。

令和五年度 全日本合気道連盟理事会・定時評議員会

令和五年度第一回理事会・定時評議員会（JAF）は五月二十六日に日本教育会館にて行われた。

十四時から行われた理事会では尾崎响理

理事長が議長となり、令和四年度の事業報告および会計報告、監査報告、令和五年度事業計画、および同年度予算案が審議され、承認可決された。

十五時半から植芝守央道主、ならびに植芝充央本部長をお迎えして定時評議員会が行われた。会に先立ち、道主より「この三年間コロナウイルスの影響で様々な制限を受けましたが、やと制限なく爽やかな気持ちで色々なことができていることを嬉しく思っております。皆さまそれぞれの地域でコロナの影響で厳しい三年間だったと思います。そのような状況の中で、できること



を精一杯やるという信念を持って皆様方が合気道の普及振興に関わってこられたことに心から敬意を表したいと思います。これからはもぜひできることを精一杯、そして新たな気持ちで取り組んでいただきたいと思えます。

同時に、開祖が唱えられたお互いを尊重する和合の心をいつも念頭に置きながら、合気道の稽古を通じて大きな輪を作っていく、そのような気持ちを持って前に進んでいきたい、そして私もそういうつもりで歩んでいきたいと思っております」とご挨拶があった。

続いて尾崎响理理事長が議長となり、令和四年度事業報告と会計報告、更に令和五年度事業計画と予算計画が各担当理事より報告された。質疑応答の後、すべての事案について評議員会の承認を得た。

大阪府連盟

第十二回連盟講習会



令和四年十月二十三日（日）、吹田市立武道館「洗心館」にて、第十二回大阪府連盟講習会を開催致しました。コロナ禍の中、奈良県連盟、滋賀県連盟からもご参加をいただき、十九団体約二百名の参加者が一堂に会し、稽古に汗を流しました。開会式では主催者を代表し、嶋本勝行会長より、「本日、講師の先生には基本を中心としたご指導をして頂きますが、しつかり稽古する姿勢を大切にしていきたいと思えます」との挨拶の後、講習会の開催に際し全日本合気道連盟理事長尾崎响理先生から頂いたご祝辞が披露されました。また、感染予防に関する説明と諸注意の喚起を行いました。

第一部の講習会では須磨弘副理事長（大阪合気塾）にご指導を頂き、前半は準備体操、舟こぎ運動、受身、膝行、入身・転換の足さばきといった基本動作、休憩をはさんで、後半は結び、崩しとそれらを使って基本技を行い、丹田を意識しながら、約二時間の稽古を行いました。

第二部の演武会では、十一の加盟団体の代表者演武、他府県連盟による賛助演武、締めくくりとして木村二郎理事長による演武を行いました。最後に辻本大治理事より閉会の辞が述べられ、一日も早いコロナ禍の終息を祈りつつ、大会は無事終了致しました。

（大阪府合気道連盟参与・今泉恵美）

埼玉県連盟

地域社会合気道指導者研修会

令和四年度埼玉県(上尾市)地域社会合気道指導者研修会(主催・公財)日本武道館(公財)合気会、全国都道府県立武道



協議会、埼玉県立武道館、後援・日本武道協議会、埼玉県教育委員会、埼玉県武道協議会、主管・埼玉県合気道連盟)が十一月十九・二十日、埼玉県武道館にて行われた。中央講師として、関昭二本部道場師範、地元講師として、吉田忠明埼玉県合気道連盟理事長、藤田潤一埼玉県合気道連盟常任理事がご指導された。十二団体六十三名が参加された。

開会式は同日に行われたなぎなた、弓道、空手道と合同で行われ、主催者を代表し埼玉県立武道館館長新井彰氏より「今研修会では、技術の発展、また県内における武道の発展に繋がるような機会にさせていただきたい」とのご挨拶が行われた。

稽古は両日共に三コマ行われ、関師範より「実りある研修会にしていきたい」との言葉があり、各種掴み技、打ち技で基本技を中心にいかに自分のパワーを相手に伝えるか、一点を集中し相手の中心を崩していく等を指導された。

コロナ対策として、マスクの着用、手指消毒、入館時の検温、畳の消毒等が行われた。

最終日には、関師範より総評が行われ「我々指導者は、常に技術の進歩を図ること、自分の持つ技術を出し惜しみせず、熱意を持って指導することが大切です」と述べられた。その後開会式同様合同での閉会式が行われ、二日間の研修を終えた。

三重県連盟

特別講習会

三重県合気道連盟は、令和四年十二月二十日、本部道場指導部師範栗林孝典先生ご指導による「三重県合気道連盟本部道場師範特別講習会」を津市産業・スポーツセンター(サオリーナ)三重武道館において開催いたしました。

今回は、新型コロナウイルス感染症対策として、参加対象を三重県内加盟道場のみに



絞り、講習会前一週間の体調管理シートへの提出や検温、稽古中のマスク着用など感染症対策を徹底しながら講習会を実施いたしました。

県内加盟道場のみに絞つたため、今回は九十三名の参加者で稽古を行いました。

まず初めにコロナ禍での栗林師範の気づきを基に、送り足・歩み足・転回足等の足さばき、体さばきの基本動作が、技の稽古において発揮されているかという問題提起をすることからはじまり、動きに対する理合いについても丁寧に指導いただきました。

また参加者の多くが師範の手を取ることができました。片手取り、正面打ち、両手取り、後両手首取りと取り方を変えながら入り身投げ、小手返し、一教、二教、三教などの技を通して改めて基本の大切さを学ぶことができました。

今年最後の三重県連講習会に、本部道場師範を講師にお迎えしての講習会はコロナ禍にあつて大変貴重な機会となりました。合気道心技の研鑽はもろろんのこと、道友間で一層の交流をはかることができ有意義な講習会になりました。

栗林師範には、大変お忙しい中を三重県にお越しいただき誠に情熱あふれるご指導をいただきました。心より感謝申し上げます。

(三重県合気道連盟事務局・樋口龍馬)

第19回全日本合気道連盟特別講習会 合気道兵庫県連盟創立20周年特別講習会



合気道兵庫県連盟創立二十周年記念、第十九回全日本合気道連盟特別講習会、第七十六回兵庫県民スポーツ大会合気道の部（主催：兵庫県合気道連盟、全日本合気道連盟（後援：公益財団法人合気会、兵庫県スポーツ協会）が二月二十六日植芝充央本部道場長を招き、兵庫県立武道館にて開催された。合気道兵庫県連盟加盟団体二十二団体中十八団体、また県外の十一団体から計三百五十名の参加があった。

講習会に先立ち開会式が行われ、来賓として船田一彦兵庫県立武道館館長、植芝充央本部道場長が祝辞を述べ、主催者として尾崎响全日本合気道連盟理事長、中尾真吾合気道兵庫県連盟会長、藤田隆充合気道兵庫県連盟理事長が挨拶された。

船田館長は「発足当初は十四団体約八百名の方が在籍されたが、二十年がたち二十二年団体二〇〇〇名にまで増加している。これはひとえに皆様の日ごろの稽古の賜物であると思います」と挨拶された。

講習会では、基本の体捌きをもとに、正面打ち入身投げ、座技正面打ち第一教、横面打ち四方投げなど基本技を中心に一時間半の稽古を指導された。

閉会式では、参加者を代表し、藤田隆充合気道兵庫県連盟理事長より「これからも日々の稽古を大切に三十年四十年と当連盟が発展していけるよう尽力してまいります」と挨拶があった。

その後場所を移し、祝賀会が行われた。祝賀会には、九十五名の方が参加され、県内、県



外道場の垣根を超え親睦が深められた。本記念行事の開催に際して、県連の若手によるワーキンググループが設立された。若手を中心となり運営が行われ、次につながる形での開催となった。

神奈川県
連盟

第10回連盟講習会



令和五年二月二十六日に鎌倉武道館にて神奈川県合気道連盟第10回講習会を開催した。新型コロナウイルス感染予防の観点から武道場への人数制限を行い、午前・午後それぞれ二時間ずつの講習会として参加者を入れ替える形での実施となった。参加者は午前午後合わせて約二百名、森智洋合気道本部道場指導部師範に講習会の御指導をお願いした。

新型コロナウイルスの影響により、本講習会も令和二年から三年間開催を中止しており、今回は四年ぶりの開催となった。依然としてマスク着用での稽古となり、懇親会も行えない状況下での開催となったが、二部制であるにも関わらず多くの方に御参加頂くことが出来、久しぶりの講習会において交流を深めて頂いたものと思う。森師範による講習では、普段の稽古において見過ごしがちな点について様々な御説明があり、また道場内を広く回られて精力的な御指導を頂くことが出来た。

令和四年十月より神奈川県立武道館が改修のため使用できず、大きな行事を行える会場の確保が難しくなっている所ではあるが、コロナ禍の影響も少しずつ緩和してきており、こうした講習会や演武会などを通じて加盟団体間のつながりを醸成し、神奈川県内の合気道に少しでも活気を与えられるよう努力していきたい。

(神奈川県合気道連盟事務局長・山本洋)

広島県
連盟

春季特別講習会



令和四年度広島県合気道連盟春季特別講習会を三月四日(土)・五日(日)の二日間、菅原繁本部道場指導部師範をお招きし、広島県立総合体育館武道場(広島県中区)にて開催しました。参加団体は県内二十五団体、県外三団体、五大学の計三十三団体。二日間で延べ百五十七名が稽古に汗を流しました。今回は新型コロナウイルス感染防止対策の為、マスク着用での講習会となりました。

講習会は基本技を中心に進められ、半身、姿勢、足の運び、立ち位置等の確認を行いながら指導を頂きました。単独動作での稽古方法、受け、取りそれぞれの注意点を意識し稽古することが大切であり、「今回学んだことを普段の稽古で活かして行きたい」、「改めて基本をしっかり見直したい」といった声が参加者から寄せられました。

和合の心を大切に、基本動作をしっかりと身体に刻ませ、安定した体捌きができるよう稽古に励みたいと思います。晴天の中、心地よい春の風を感じながら充実した講習会が開催出来ましたこと心より感謝いたします。

今年度、広島県連盟ではコロナ禍後初、年二回の研修会・講習会を開催することができました。加盟団体のみならず、様々な世代が一堂に会することができ、講習会の意義を改めて実感しました。

先生方から多くのことを学べる貴重な機会を今後も活かしていきたいと思っております。

(広島県合気道連盟事務局長・竹舛久美子)

長野県連盟

合気道技術講習会

長野県合気道連盟(会長萩原清)は、藤巻宏本部道場指導部師範をお迎えし、四月十六日(日)、松本市柔剣道場にて合気道技術講習会を開催いたしました。連盟傘下の十五団体および信州大学から、合わせて八十五名が参加し、午後一時から三時までの二時間の講習会が行われました。

二〇二〇年春から始まったコロナ騒動もやつと下火となり、久々の大きな講習会を開催できました。開催前は何人の人が集まってくるのか心配でしたが、予想を遥かに上



回った人に参加して頂きました。奇しくも、二〇一九年のコロナ騒動前の講習会にも藤巻先生に来て頂き、コロナ収束時にまたお越しいただけたことに、何か不思議なご縁を感じました。

藤巻師範は、コロナ禍で稽古があまり出来なかつた方が多いことや、初心者の方も多かったことを考慮されて、片手取りの体の転換、体捌きなど、基本的な体の使い方から始まり、各種の基本技(一教、入身投げ、四方投げ、小手返し、回転投げなど)から応用技まで指導して下さりました。

稽古の合間に開祖の技の拡大写真を皆にみせ、写真から読み取れる開祖の掛け方などを教えて頂きました。初心者にとつても有段者にとつてもためになる講習となりました。

久々に多くの方が参加し、道場の垣根を越えて本当に合気道の稽古を楽しんでいる姿が、非常に印象的で開催者として心から嬉しくまた、講習会後に藤巻師範を囲んで懇親会を開催しました。

稽古で汗をかいた後の冷たい飲み物は言うまでもありませんが、コロナ禍で人と一緒に飲食をすることがなかったという人もいて、笑顔溢れる懇親会となりました。師範の気さくなお人柄も相まって大変盛り上がりました。本当にありがとうございました。

(長野県合気道連盟・中島久典)

北海道連盟

春季講習会

北海道合気道連盟主催の春季講習会は、六月四日、千歳市開基記念総合武道館にて開催されました。小山雄二本部道場指導部師範を講師にお迎えし、午前と午後それぞれ二時間の講習会を行いました。連盟加盟二十二団体と学生三団体から約百二十名が参加しました。

午前の部では体の転換から片手取り、立ち技、座り技、半身半立て技に続いて横面打ちを指導されました。特に横面打ちでは、一歩目をしっかりと踏み込むように指導されました。また、午後の部では片手取り入身投げ、スミ落とし正面打ち入身投げを指導されました。

小山師範は、「取り」との良好な関係を保つために、「受け」がとるべき正しい位置について説明されました。横面を打った時、さばかれた「受け」は、振られる動きに過剰に反応せず、「取り」にきちんと向き合い、正しい姿勢を保つことが重要とのことでした。

全体として、内容は難しいながらも、やりがいがあり、興味深い技を数多く稽古することができました。

小山師範は、非常にエネルギーに技を披露され、ポイントを説明された後に、道場内を回りながら指導されました。あわせて、怪我を防ぐために、正しく受けがとられているかを注意深くチェックされていました。

(北海道合気道連盟理事・阿部ジョスリン)



宮城県
連盟

地域社会合気道指導者研修会

「令和五年度宮城県(仙台市)地域社会合気道指導者研修会」は、六月十七日、十八日に宮城県第二総合運動場宮城県武道館で開催されました。

中央講師として公益財団法人合気会より森智洋本部道場指導部師範、梅津翔同指導



員をお迎えし、地元講師の宮城県合気道連盟会長の白川勝敏師範、同理事長の吉田洋孝師範を含む四名の先生方の御指導を、連盟加盟の諸団体から百十九名が参加し、受講しました。

開会式では、阿部正宮城県第二総合運動場長の主催者挨拶に続いて白川勝敏宮城県合気道連盟会長が挨拶。森師範からは「各自体調管理をしっかりを行い、互いに気持ち良く、心地よい稽古をしましょう」との挨拶をいただき、研修にうつりました。

講義で森師範は「合気道の構造」すべての分野で役に立つ合気道「合気道で『至誠の人』は生まれるのか」合気道をやる私達が、この時代をどう生きていくか、吉田師範は「礼法とその実践」、白川師範は「天之鳥船行法」について解説されました。

質疑応答では、平素ご自身の心がけていることなどを披歴され、テーマを持って臨んだ受講生も、本研修を受講して、自分なりの解答を得、それぞれに新たな課題を持って帰ることができたようでした。日程中は連日三十分近い気温となり、熱気あふれる稽古が、講師、受講生の熱意そのままに一層熱いものとなりました。

(宮城県合気道連盟理事長・吉田洋孝)

東京都
連盟

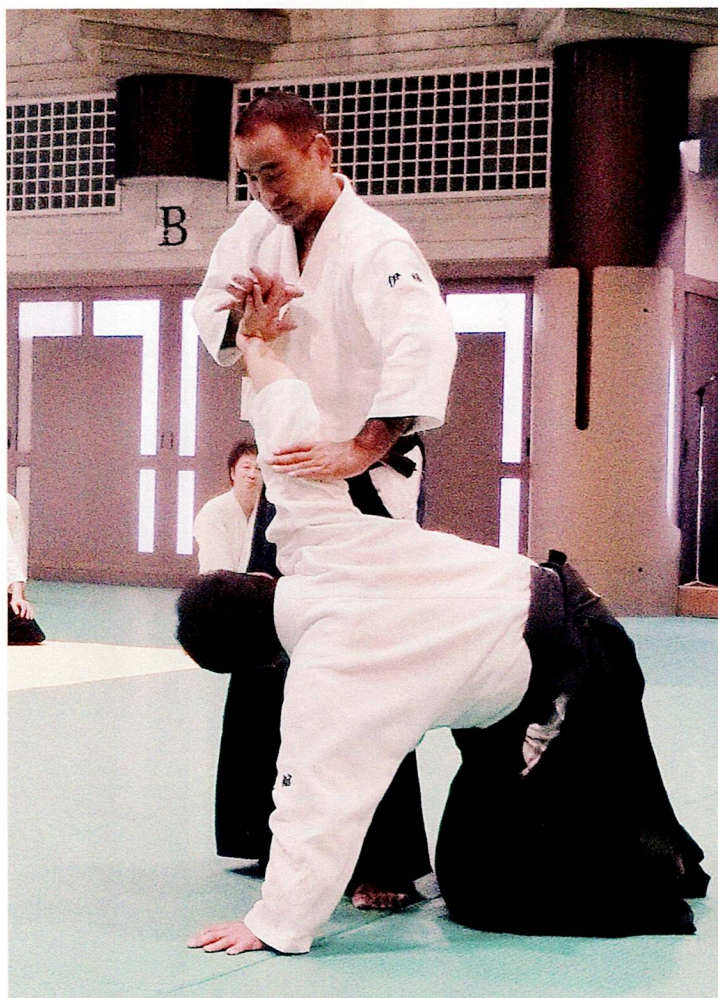
合気道錬成大会

東京都合気道連盟主催の合気道錬成大会は令和五年六月十八日(日)、東京武道館第一武道場で伊藤真本部道場指導部師範を講師にお迎えして開催された。

東京七十一名の参加であった。

今回の講習は「自分が安定し、相手を安定していない状況にする」というテーマのもと指導が行われた。「顔をあまり動かさず視点は相手を導く方向をみる」との大切さをご教示くださった。

最後に、「自分が安定した中で、どのように



して相手を導いていくか、また技が上手くない時は、考えて技を試してみることを」を助言された。

二時間近い錬成大会もあっという間に時間が過ぎていき、非常に密度の濃い大会となった。

当日は三十度と暑い中開催されたが、熱中症や怪我人もなく錬成大会は無事終了した。

(東京都合気道連盟理事・中島敬二)

第1回 IAF 国際青年合気道大会概要

- ◇主催：国際合気道連盟
International Aikido Federation
- ◇後援：公益財団法人合気会 京都新聞社
- ◇主管：京都市合気道連盟 京都府合気道連盟
- ◇協力：全日本合気道連盟
海外からIAF代表50名
日本から募集人数150名
18歳以上30歳未満の有段者対象
- ◆日時：2023年9月15日(金)～17日(日)
- ◆場所：京都市武道センター旧武徳殿
- ◆特別講師：植芝 充央 合気道本部道場長
- ◆講師：鈴木 俊雄 本部道場指導部師範

【プログラム】

- 9月15日(金) 18:00～20:00 講習会
- 9月16日(土) 10:00～12:00 講習会
14:00～16:00 講習会
19:00～交流会
- 9月17日(日) 10:00～11:30 講習会
11:45～12:45 演武会

【参加費】

- ・全日程：¥10,000(¥6,000)
- ・1クラス：¥ 3,000(¥2,000)
カッコ内は学生料金
- ・交流会：¥6,000
- ・全学連申し込み開始4月1日～
- ・一般申し込み開始6月1日～

★申し込みポータルサイト：

<https://sites.google.com/view/iaf-2023-kyoto>

第1回 IAF 国際青年合気道大会
2023年9月15日(金)～17日(日)

第20回 全日本合気道連盟講習会

- ◆期 日：令和五年十月二十九日(日)
- ◆時 間：午前十時～十一時四十五分
- ◆場 所：宮城県第二総合運動場・武道館
- ◆住 所：宮城県仙台市太白区根岸町十五-一
- ◆電 話：〇二二-二四九-二二二六
- ◆特別講師：植芝 充央 合気道本部道場長
- ◆主 催：全日本合気道連盟・宮城県合気道連盟
- ◆主 管：宮城県合気道連盟
- ◆申込先：宮城県合気道連盟 事務局長 亀田 誠
- ◆電 話：〇九〇-六六八一-三五五七
- ◆E-mail：bjqhp463@yahoo.co.jp

第11回 全国合気道指導者研修会

- ◆期 日：令和五年十一月三日(金)～五日(日)
- ◆場 所：日本武道館研修センター(千葉県勝浦市)
- ◆主 催：(公財) 日本武道館
(公財) 合気会
- ◆問い合わせ：(公財) 合気会 〇三-三三〇三-九三三六



公益財団法人合気会認定道衣
百年の伝統
株式会社岩田商会
<https://iwataco.com/>

大好評販売中!

軽量・コンパクト、瞬時速乾道衣

よもぎ
すみれ
わかば

初心者・学生に大人気

〒290-0037千葉県市原市飯沼172
TEL/FAX: 0436-77-1606
URL: www.xebec9.jp/
E-mail: morishige@xebec9.com

合気道用品専門店
Xebec シーベック

初級者・入門者用合気道衣セットから上級者にお薦めの合気道袴・合気道木刀まで幅広く取り揃えております。

※東山堂の道衣、股下、帯、袴は合気会認定マーク入りです。

株式会社 東山堂
TOZANDO

京都ショールーム
〒602-8205
京都市上京区中立売智恵光院東入451-1
営業時間: 9:00~18:00
TEL: 075-432-1600

聖護院店
〒606-8323
京都市左京区聖護院円頓美町24
営業時間: 10:00~19:00
TEL: 075-762-1341

オンラインショップ <https://tozando.net/>

GEN ONLINE DOJO 合気道

動画配信中

合気道コンテンツを随時公開!



公益財団法人 合気会 公認ブランド
純日本製 合気道・古武道用品専門店

星道

道衣・袴・帯・木製武器
高品質の名入れ刺繍・文字彫りも承っています

【ご注文・お問い合わせ】
www.SeidoShop.jp
TEL: 048-437-1740 FAX: 048-437-1856

東京・本郷 合気道用品専門店
仁武堂
Jinbudo Martial Arts Supplies

〒113-0033 東京都文京区本郷3-4-5
ハイムお茶の水3・4・5ビル 2F-1
TEL: 03-6801-6414
FAX: 03-6801-6415
info@jinbudo.co.jp
<http://www.jinbudo.co.jp/>

合気道衣【袴】【帯】
好評発売中!

※本館より(徒歩17分)
「ワンダーミュージアム」交差点そば
【備考】
●東京・トロカドの店舗 朝早/夜遅より 徒歩4分
●JR有明駅西口/水戸線駅/水戸線より 徒歩5分
●東京・トロカドの店舗 都立大江戸線 本郷三丁目駅より 徒歩5分

合宿に最適! **源泉かけ流し+スポーツ施設**

多目的ホール完備!

伊豆奥下田、**観音温泉**
合宿プラン

伊豆奥下田、**観音温泉**
飲泉・自家源泉かけ流し、
豊かな大自然の恵みと
スポーツ施設で
いい汗ながしましょう!

伊豆奥下田
飲泉・自家源泉かけ流しの宿

お問い合せは
伊豆奥下田
0120-01-9994

〒413-0712 静岡県下田市横川 1092-1 0558-28-1234 (代) 0558-28-1235 | 観音温泉 | 検索 <http://www.kannon-onsen.com>

ダービー印製品販売元・タオル・本染手拭・名入卸

株式会社 城内
Derby
DORICH CO. LTD.

本社 豊島区高松1-10-5
電話: 03-3973-0710
FAX: 03-3973-0991
電話: 03-3959-2071 (夜間)

E-mail: horiuchi-towel@honey.ocn.ne.jp

公益財団法人合気会
公認道衣 販売開始決定!

ショップのご案内

東海堂 SHOP 水道橋店
〒113-0033 東京都文京区本郷 1-4-11 岡野ビル
TEL: 03-5840-8030 FAX: 03-5840-8033
営業時間: 10:00 ~ 19:00 定休日: 年末年始・夏季

東海堂 SHOP 博多店
〒812-0022 福岡県福岡市博多区神屋町 6-18
神屋ビル101号
TEL: 092-263-6891 FAX: 092-263-6892

東海堂 SHOP 名古屋店
〒461-0004 愛知県名古屋市中区葵 1-16-26
貴久ビル603号室
TEL: 052-937-2560 FAX: 052-937-2561

東海堂 SHOP 難波店
〒556-0011 大阪府大阪市浪速区難波中 3-8-22
新川清水ビル2F
TEL: 06-6633-3277 FAX: 06-6633-3278

横浜営業所
〒231-0028 神奈川県横浜市中区鶴町 2-8-6
第二東里ビル214号室
TEL: 045-305-6923 FAX: 045-345-5589

※ 大会等の催事出店の為、臨時休業となる場合があります。

東海堂 <https://www.tokaido.tokyo>
絶賛更新中!